

NSゼロヨン

下地調整用プレミックスモルタル

NSゼロヨンは、極薄塗りから厚塗りまでの材料に要求される性能を追求し、接着耐久性・強度発現性等に優れ、抜群の作業性を有する下地調整塗材です。

特長

- NSハイフレックスHF-1000の混入により、ポリマーセメントモルタルとして接着耐久性に優れ、長期間高い接着力を保持します。
- ゼロ接点から10mmまでの幅広い補修ができます。
- 抜群の作業性、仕上り性を有しており、作業効率向上と工期短縮が図れます。
- 各種仕上材の下地調整に幅広く使用できます。

標準仕様

製品名	荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚	標準施工面積
NSゼロヨン	#10	内・外壁、 内部床、 手摺天端、 天井	コンクリート、 PC板、 ブロック、 ALCパネル	クロス、 水性塗料、 エマルジョン系仕上塗材、 Pタイル、 タイルカーペット	HF-1000* 2kg 清水 約7.5ℓ	0~2mm	約20m ² (1mm厚)
	#20				HF-1000* 2.5kg 清水 約6ℓ	0~5mm	約10m ² (2mm厚)
	#30	内・外壁、 内部床、 手摺天端		陶磁器質タイル、仕上塗材、 Pタイル、タイルカーペット	HF-1000* 2kg 清水 約5ℓ	2~10mm	約3m ² (7mm厚)
	#40				HF-1000* 2kg 清水 約4ℓ	4~10mm	約2m ² (10mm厚)

注)*: NSハイフレックスHF-1000

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。

水振りをしたのこて押えは、モルタルの表面強度を低下させる要因となりますので、NSハイフレックスHF-1000の3~4倍液を散布してください。

性能

試験項目	試験結果				JIS A 6916の品質基準				
	#10	#20	#30	#40	C-1	C-2	CM-1	CM-2	
軟度変化(%)	-7.6	0.2	3.7	-1.1	±20				
耐ひび割れ性	ひび割れの発生なし				ひび割れがないこと				
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれなし				ひび割れ及びはがれがないこと				
曲げ強さ(N/mm ²)	—	6.8	7.9	7.1	—	—	3.0以上	5.0以上	
圧縮強さ(N/mm ²)	—	26.0	33.1	23.2	—	—	5.0以上	10.0以上	
付着強さ(N/mm ²)	標準養生	1.8	2.4	2.5	2.3	0.7以上	1.0以上	0.7以上	1.0以上
	低温養生	0.7	1.1	0.8	2.6	0.5以上	0.7以上	0.5以上	0.7以上
吸水量(g)	0.9	0.5	0.5	0.2	2以下	1以下	2以下	2以下	
透水量(ml/h)	—	0.8	0.7	0.1	—	—	1以下	0.5以下	
長さ変化(%)	—	0.15	0.13	0.09	—	—	0.15以下	0.15以下	
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性	外観	割れ・膨れ及びはがれなし				割れ・膨れ及びはがれがないこと			
	付着強さ(N/mm ²)	1.4	1.6	1.8	2.7	0.7以上	1.0以上	0.7以上	1.0以上
仕上材が陶磁器質タイルの場合の耐久性(N/mm ²)	—	—	—	1.1	—	—	—	0.6以上	

※#10はC-1、#20・#30はCM-1、#40はCM-2の物性を有しています。

(財)建材試験センター (財)ベターリビング

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

施工法



下地の清掃
下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。
*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

下地処理 (吸水調整材塗布)
乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。
*吸水の激しい下地の場合、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守してむらなく丁寧に塗布してください。
*ブロック等、下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要です。

練混ぜ
NSゼロヨン25kgに対し、所定量のNSハイフレックスHF-1000を混入し適量の水を加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等でダマにならないように十分に練り混ぜてください。
*ドライアウトの原因となりますので、所定量のNSハイフレックスHF-1000を必ず混入してください。
*NSゼロヨン#40をタイル下地材として使用する場合には、下地処理にNSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を塗布し、必ず所定量のNSハイフレックスHF-1000を混入してください。
*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

塗付け
こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。仕上材の種類によって、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等をおこなってください。
*浮きや割れの原因となりますので、「ガリッ」と擦ってから所定厚に塗り付けてください。
*1回の塗厚は、標準仕様の塗厚を厳守してください。
*標準仕様の塗厚をこえる場合は、2回以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季3日以上、冬季7日以上としてください。ただし、NSゼロヨン#20で全面塗りをおこなう場合は1回の塗厚を3mm以下、NSゼロヨン#30・#40で全面塗りの場合は、1回の塗厚を8mm以下としてください。
*塗り継ぐ場合、下塗面は金ごて押えを避けてください。
*JASS 15 左官工事の標準仕様に従って施工してください。塗厚が25mmをこえる場合はステンレスアンカーピンとステンレスラス等を併用してください。

養生
通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。
*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。
*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。
*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので、塗り付け後、仕上げまでの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。

使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。

#10

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306194
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

#20

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306195
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

#30

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306197
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

#40

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306198
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



製品問合わせダイヤル  **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。